

《十小スタンダード及び全校で統一する取組》

◆はじめとおわりに あいさつしよう ◆必要なものだけ 机の上に◆よい姿勢で 座ろう「ぐう ぴた ぴん」 ◆「はい」 立つ 「～です」

☆児童の実態に合った問いかけをする ☆教室前面を統一するなど、学習環境のユニバーサル化を図る ☆東京ベーシックドリルの活用

《今年度、学年として、何事にも進んで挑戦し、やる気満々の児童を育てるために系統立てて取り組むこと》

- 学習のゴールイメージをもち、問題を発見し、解決の道筋を考える。
- 学習する過程で、自分の考えを表現し、解決の方法を修正できる。
- 学び合い、考えや学び方を広めたりふかめたりできる。

授業改善に向けた教科ごとの方策 第2学年

教科名	児童の実態	学年末までに期待される児童の姿	具体的な授業改善策(箇条書き)	検証及び修正案
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を読むことは好きであるが、文章をしっかりと読むのが苦手な児童が多くいる。自分の考えを書いて表現したり、発表したりすることを苦手とする児童も多い。 ・漢字を正確に書いたり、送り仮名を書いたりすることが苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・8割以上の児童が自分の考えに自信をもって友達に伝えたり、友だちの考えをしっかりと聞くことで考えを深めたりすることができる。 ・習った漢字を使って、文章を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな場面で、自分の考えを発表したり、聞いたりする場面を取り入れ、考えを深められるようにする。実物投影機にノートなどを写し、友達の意見を具体的に聞けるようにする。 ・習った漢字を使って文章を書くように、その都度指導を行う。 ・漢字の宿題を毎日出し、画数が多い漢字や、書き順が分かりにくい漢字は、繰り返し指導を行う。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・たし算ひき算の筆算の計算では、筆算の仕方は理解しているが、定着が十分でない児童が多い。 ・時刻と時間・長さ・大きな数では、理解力に大きな差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・たし算ひき算の計算力を確実にし、正確に計算できるようになる。 ・かけ算の意味を理解し、かけ算が使える場面を意欲的に考えて立式できるようにする。かけ算九九を定着させて、唱えたり答えを書いたりできる。 ・時刻と時間、長さ、分数や図形の学習の初期の内容を確実に理解し既習事項をしっかりと定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・たし算ひき算の筆算がスムーズにできるように計算プリントなどに常時取り組み、計算力を確実にする。 ・かけ算九九のカードや九九表等を使い、正確に九九が唱えられるようにする。 ・具体物や半具体物を使い、学習に興味をもたせ、動かしたり操作したりする経験をさせて、学習の理解と定着を図る。これらの道具を使う前後には、手洗い・消毒を行う。 	
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や1年生、家族、地域の方など身近な人々に対する関心が高い。 ・野菜などの栽培を通して、自然や生き物に触れるのが大好きである。 ・公共の物や施設を丁寧に使うということは知っているが、実際の行動には課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちのこもった挨拶や、お礼の言葉が言えるようになる。 ・自分が体験したこと、学んだことや気付いたことを、カードにまとめることができる。 ・野菜や植物が年間を通して姿を変えながらも身近にあるということを認識できるようになる。 ・公共の物や施設を大切に利用できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人々と安全な関わり方を教える。 ・学んだことや気付いたことについて実物投影機等を使って発表する機会を設ける。また、学んだことをいかして次の学習へのきっかけをつかんでいく。 ・秋冬の野菜作りの学習を設定し、1年間を通して栽培の学習に触れる。 ・町探検などの機会を利用して身近な公共施設に出向き、安全に利用していくきっかけをつくる。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業を楽しみ、意欲的に取り組む児童が多い。 ・運動に苦手意識がある子でも、遊びながら体を動かすことで楽しく活動できている。 ・ルールを守ったり、安全に気をつけたりしながら活動することができない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームや活動のルールをよく聞き、理解して、順番やきまりを守って取り組むことができる。 ・安全や熱中症に気をつけて活動できるようになる。 ・動きを工夫したり、友達の良い動きを見つたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に入る前にルールや注意事項を伝える。（水分補給・飛沫エチケット） ・ルールや約束については、大きな紙に書いておくなど、児童が視覚的にも理解しやすいように説明をする。 ・良い動きをしている児童を指名して、お手本とし、共有する。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽が好きな児童が多いように感じる。 ・鍵盤ハーモニカは、苦手意識がある児童が多い。 ・歌に関しては、小さい声で歌ったり、手でリズム打ちをしたりしながら音楽に親しんでいる姿が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて安全に歌えるようになる。 ・楽器にふれる楽しみを味わい、粘り強く練習をしようとする。 ・楽しみながらリズム遊びしたり鍵盤ハーモニカを弾いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に気を付けて、小さい声で口ずさむ（マスクは外さない）。 ・鍵盤ハーモニカ以外にも様々な楽器に触れさせる。 ・リズム遊びを通して体で音楽を感じられるようにする。 	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を描くことが好きな児童が多いが、一部苦手な児童もいる。 ・自分の思いやイメージをもつことが苦手な児童がいる。 ・絵の具やハサミ、カッターなどの道具の使い方に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いやイメージに自信をもって、絵や工作で表現できるようにする。 ・自分で作る物のイメージをもち、楽しく絵や工作に取り組む。 ・道具を安全に使えるようにし、自分が表現したいものを、少しでも効果的に表せるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いやイメージに自信をもたせるために、発想やイメージを褒めていく。また、下書きや設計図を書く。 ・様々な材料に触れる機会をつくる。 ・材料を集める時間がもてるよう、ヒントとなる声かけを事前しておく。 ・カッターなどの道具は約束を決めて、安全に使えるようにするために、図を示しながら説明する。 ・共有で道具を使う前後に手洗い・消毒を行う。 	